

# 発足50周年記念 梧桐会(同窓会)開催!!

5月10日(日)母の日 PM1:00~ 於大崎高校



第34号  
昭和62年4月1日発行  
発行所 梧桐会  
東京都品川区豊町2-1-7  
電話(786)3355-6  
部立大崎高等学校内  
編集 良治男  
印刷 彦男  
発行所 淡部  
印刷 日正

## 体育館・格技棟の改築の報告

旧職員 平野 稔



本校が、十年以上にわたって要望し続けた体育館及び格技棟の改築工事が、昨年から始まった。旧体育館は、昭和

三十一年に建築され、当時としては斬新な体育館であった。そうだが、現在の全生徒を収容することが出来ないばかりか、雨漏りがしたり、床もいたんでくると、老朽化が進んで来た。  
昭和五十九年に、前校長の中島実先生が、都に強く働きかけられ、地元選出の部議会議長が、夏休業中に、実地測量が行われ、これに基づいて、都財務局が概ねの配置図を作成し、学校側に提示した。この配置図は、格技棟が東西に長く設置され、グラウンドが大きく張り出し、狭いグラウンドが更に狭くなるというものであった。

## チャンス逃すな いざ、母校へ!!

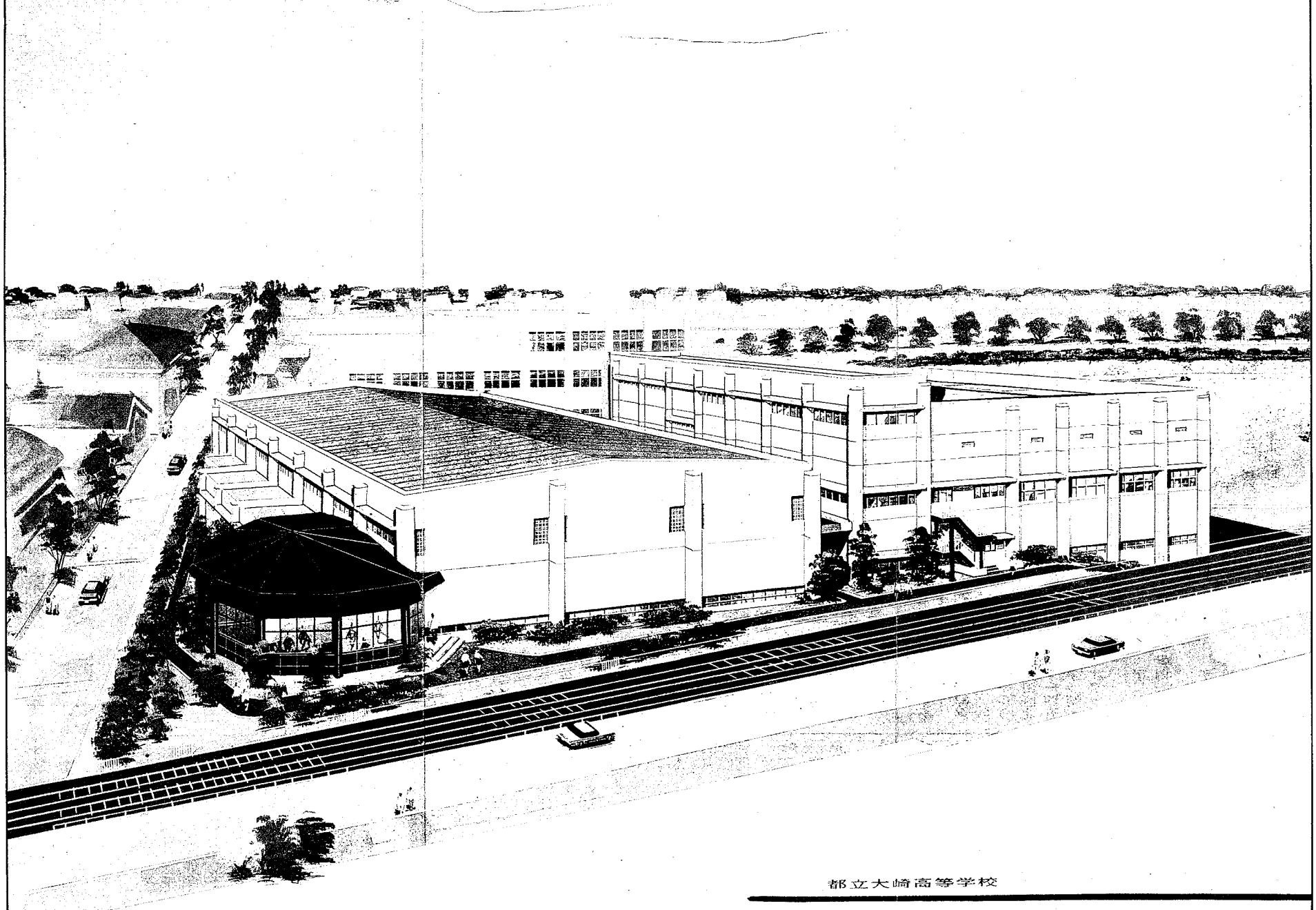
本校が、十年以上にわたって要望し続けた体育館及び格技棟の改築工事が、昨年から始まった。旧体育館は、昭和三十一年に建築され、当時としては斬新な体育館であった。そうだが、現在の全生徒を収容することが出来ないばかりか、雨漏りがしたり、床もいたんでくると、老朽化が進んで来た。  
昭和五十九年に、前校長の中島実先生が、都に強く働きかけられ、地元選出の部議会議長が、夏休業中に、実地測量が行われ、これに基づいて、都財務局が概ねの配置図を作成し、学校側に提示した。この配置図は、格技棟が東西に長く設置され、グラウンドが大きく張り出し、狭いグラウンドが更に狭くなるというものであった。

案内

日	5月10日(日)
時	12時30分(受付開始)
時	1時~4時
会費	500円(新卒者は無料)
プログラム	会長の挨拶 校長の挨拶 学校長の挨拶 会計報告 役員承認

梧桐会は昭和十二年七月発足以来今年で五十周年を迎えることができました。会員数も一万二千人を超え、ますます充実して参りました。昨年は、母校創立七十五周年、そして待望の梧桐会会員名簿も発刊となりました。  
今年も母の日、五月十日に梧桐会総会を開催致します。いつかは出席しようと思っ方、とにか一度出席してみたい方、今年もまた、長年教壇に立ってこられたおなじみの先生方のうち、何名か退職され、あるいは転任されたりで、一昔以上前の卒業生の皆さんにとってはますます寂しくなりました。梧桐会総会は、そういった先生方と卒業生が再会できる、年に一度の総会です。この機会を逃す手はありません。皆さん、誘い合って出席しましょう。

一、狭小な用地の中で、将来の環境、用地条件の悪化を考慮し、現在のグラウンドを縮小しないよう配慮すること。  
二、内部、外観とも、本校の象徴となるような体育館とすること。  
三、道路に面したブロック塀をフェンスに代え、グリーンベルトを設け、緑地を確保し、地域住民に緑の憩いを提供すること。  
四、現在のバレーコートの一部を削り、グラウンドを拡げること。  
等の項目を全体的要望事項とし、個別的要望事項として、体育館・格技棟・プール等については、それぞれの細部にわたる要望事項を挙げた。都側も、学校の要望をかなり受容れて、グラウンドの面積にあまり影響を与えないよう、格技棟を南北に長く、なるように図面を書き直してくれた。数回にわたる検討・打合せの後、基本配置図が作成され、これに基づいて本設計に入る事が確認された。  
昭和六十一年三月に、設計図が完成し、細部の検討と修正が何回も行われた。次の図面は、体育館及び格技棟の一階平面図である。  
六十一年四月、基本工事に先立って、地域への工事関係の資料配布、住民への工事説明会の開催によって、地域の理解と協力を求めた。八月、解体工事が始まり、九月に終了。更に、地域住民に対する建築工事の説明会を開催し、十三、雑音高抗打作業が始まり、本格的な建設工事に入った。  
三月現在、七割方出来上がり、五月二十五日、竣工予定である。  
私は、この改築工事の設計の段階から関わってきたが、何せ建築に関しては全くの素人で、「盲目蛇に怖じず」の例えのように、随分と無理な要望を出して来たが、教育庁や財務局及び設計担当の方々のご理解があったからこそ、無理難題が受容られたもの、そのご尽力に対して深く感謝の意を長し、と思ひます。  
残念なことに、体育館の完成を見ずに、大崎を去ることになった私ですが、この二年間は、大崎に良い体育館を残したいという一念で施設委員の先生方と頑張ってきたつもりです。完成に伴い、施設、備品等の予算や管理等について多くの問題もありませんが、事務長先生を中心として、施設委員の先生方の叡智を集め解決して頂きたいと思ひます。  
最後に、梧桐会から多額の寄附を頂き、紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。  
梧桐会と会員の皆様の益々のご発展を祈念して、ご報告を終わります。



都立大崎高等学校

この春も新たに三百七十四名の卒業生を新同窓会員として送り出すことができました。昨年度は梧桐会の新名簿が発刊され、会員各位の消息が明らかになって、それぞれの分野における活躍の様子を知り、何よりのことと心からお喜び申し上げます。

同窓会は横の連絡が第一であり、それに縦の関係である

また、私の旧制中学校の同窓会も盛んであります。昨年は創立百周年の会員名簿や人物誌が発行されました。私は、昔の自分に会うことだな。という文章があります。

私も還暦を迎える年齢となりましたが、五十年前の小学校のクラス会が一年一回、故郷の町の温泉場で必ず開かれていました。一年から四年生まで

た、物語者が多くなっているのをみて、愕然とすることもあります。

さらに、教師をしていると自分の勤務した学校の同窓会名簿が、あちこちから送られてきます。昨年の秋、私が最初名簿に立つた和洋女子大付属九段女子高校の同窓会名簿が突然に送られてきました。女学校ですから多くは結婚し

### クラス会・同期会の勧め

先輩、後輩が加わって、あたかも横系、縦系によって一枚の織物が織りなされるが如くに発展していくことが理想であります。

最近出版された風山光三郎の「同窓会」(講談社刊)という短編小説を読みました。そこには東京近郊のある高校(小説の中では岩水高校)に、学び、集まり散じた同窓生が

を担任して下さった恩師が、私たちの担任を終ると、柳田国男の民俗学を勉強するために上京し、品川区の小学校長を最後に退職されて、お元気で東京にお住まいでありますので、東京や神奈川、千葉埼玉などに在任の同級生が、先生ご夫妻をお招きして、楽しい一時を過ごすことになって

て改姓されていますが、三十有年前の教員たちの消息を知ることができて、往時を懐かしく思い出しました。また、昨今は教員たちが、四十年代から五十歳代の前半にかけてきて、生活に余裕が出てきたり、年齢相応に回顧的になってきたのか、クラス会同期会はやはり、日時が重なって嬉しい悲鳴をあげること



武藤 清躬 校長

### 職員だより

窓外では、春の到来を思わせる日差しの中で、つぎつぎとバスケットコートにフェンスや木立が根こそぎ倒されてゆきます。

いま学校では、あの体育館

思い起こせば二十一年前、十一名の教職員は体育館の壇上に並び、着任の挨拶をしました。ちょうど八学級編成が完成した年のことです。あのときの生徒の皆さんもすでに

いま学校で、私ひとりとなりました。

くの字型に曲がった類のな木造校舎を覚えている方も多いでしょう。栗の木の葉陰の小暗い食堂のいえた匂い。

とは何なのか。漫然と過ぎし日々を思い出しながら窓外の工事を眺めています。

変わらざるものは(不本意ながら)体育祭のモダン・アーチ。次に校門付近に亭亭と聳

### 職員室から

が瓦礫と化し、その上に新体育館の建築工事が進行しております。校庭へと私たちを導いた石段、その傍らの桜、夏蜜柑の木は跡形もありません。やがて校門も新しくなりましょう。

四十歳に近い筈。その後、教職員のうち四人の方が他界され、その他の皆さんは全員転退職なさって、あの日、あのとき、体育館の中に漲っていた熱気、爆笑、陽光、時折おこる電車の音を知るものは、

職員室・図書室の一棟の、風雨に晒された窓枠や腰板の感触……。

鉄筋校舎に移ってから、この職員室近辺の造園がすすみました。先頭に立って工夫、按排なさる矢野・宮本両先生。



旧職員 木槻 美登里

りしました。

この二十一年間、校舎も校庭も変わって来ましたが、今また大きく変わりました。今更替も教職員も入れ替わりました。今更替も教職員も入れ替わりました。今更替も教職員も入れ替わりました。

えるヒマラヤ杉——それにつけても道路問題の行方が気にかかります。そして、もうひとつ、大崎に心をよせる同窓生や、新旧教職員の思いでしょうか。

一九八七年二月末日

### 職員室からの

- 退職
- 木槻美登里(日本史)
  - 渋谷豊実(倫理)
- 新任
- 高橋清文(保健)
  - 平野 稔(保健)
  - 渡辺啓助(英語)
  - 数野吉子(家庭)
  - 伊藤伸一郎(日本史)
  - 辻勇一郎(倫理)
  - 勝山 学(保健)
  - 宇野一茂(保健)
  - 若林正美(英語)
  - 豊田恵子(家庭)

### 新幹事(61年度卒)

- |   |      |       |
|---|------|-------|
| A | 清水 顕 | 菅野真由美 |
| B | 林 謙吉 | 吉沼 希和 |
| C | 幸田 卓 | 村上いづみ |
| D | 須田史良 | 比嘉 厚子 |
| E | 鶴間久央 | 錦織ゆかり |
| F | 水森寛宜 | 西尾 明子 |
| G | 中川 洋 | 丸山 裕子 |
| H | 池田陽一 | 高柳 里香 |

### 会報委員会からの

メッセージ

①会員だよりのコーナーで、今回掲載したような形で、これからも会員同志のご夫婦をはじめ、兄弟・親子の方々のお話を集めていきたいと思っております。このような組合せの方々、あるいはその様な方々を「ご存じの方は、原稿や情報を事務局までお送り下さいませ幸いです。

②同期会・クラス会の情報をお寄せ下さい。最近、同期会・クラス会を行った方々または予定の方々は、その会合での様子、会員の皆様の消息をお寄せ下さい。

同期会・クラス会に際し、会員の最新住所を確認されることと思っております。同窓会名簿の編纂作業に大いに助かりますので、幹事の方は最新の会員住所を事務局までお知らせ下さいませに存じます。

③名簿の完成により、多くの方々の住所が判明し、会報が届くようになります。しかし、依然として所在不明の方が多いのが現状です。皆さんのまわりで会報が届かない会員の方はいらっしゃいませんか? いらっしゃいましたらお手数でもその方の住所・氏名等を事務局までお知らせ下さい。

### 昭和六十一年度卒業生進路状況

- 進学
- 四年制大学
    - 東京学芸 一 大妻女子
    - 関東学院 二 神田外語
    - 国学院 一 国学院(II)
    - 国際武道 一 埼玉工業
  - 産業能率(II)
    - 城西 一 淑徳
    - 実践女子 一 創価
    - 専修 一 専修(II)
    - 大東文化 一 千葉商科
    - 中央学院 二 東京国際
    - 東洋 一 独協
    - 日本 二 日本工學院
    - 文教 一 法政
    - 武蔵工業 一 明治
    - 明星 一 横浜商科
    - 和光 三 早稲田
  - 短期大学
    - 都立商科 一 跡見学園
    - 青葉学園 一 嘉悦女子
    - カリタス女子 一 二
    - 関東学院女子 一 一
    - 恵泉女子 一 京浜女子
    - 三育学院 一 産業能率
    - 昭和女子 二 実践女子
    - 聖徳学園 一 洗足学園
    - 田中千代学園 三 一
    - 調布学園女子 四 一
    - 中京 一 鶴見女子
    - 帝京女子 三 戸板女子
    - 東京家政学院 三 一
    - 東京女子体育 二 一
    - 東京成徳 一 東洋女子
    - 東横学園 三 日本経済

### 会計報告

	61年度予算	61年度決算	内 容	62年度予算
収入	繰入金	442,295	新会員入会費、利息	363,937
	金入金	1,750,000		1,870,000
	合計	2,392,295		2,453,937
支出	総会費	280,000	模擬店、アルバイト	330,000
	事業費	1,200,000	印刷、発送、編集、連絡費	1,150,000
	事業用備	260,000	印刷、発送、通名簿積立	250,000
	簿	200,000	会館積立	200,000
	名簿	100,000	名簿製作事務、通信費	100,000
	合計	2,392,295		2,453,937

### 就職

- 日本女子衛生 一
  - 日本女子体育 一
  - 富士(II) 一 文京女子 二
  - 目白学園 一 武蔵野女子 二
  - 短期大学計五十三
  - 専修・各種学校計百十六
- 就職
- インターナショナルソフトウエア
  - 住友銀行
  - 大日本印刷
  - 天 一
  - トヨペットサービスセンター
  - 千代田グラフィック印刷
  - 日航保険組合
  - イマジカ
  - 丸栄計算センター
  - 昭和大学
  - タテヤマスポーツ東京
  - パソコ東京
  - JPCコンピュータインテグ
  - サールビス
  - セントラルコンサルタント
  - 城南総合病院
  - 古河電線販売
  - 日産スポーツプラザ

**A** 初めてのだから、場所がわからなかったわね。あまりお金をかけない方がいいよ。何人来るか全然予想がつかなかったから。

**B** 結局正解だったよ。

**A** でも私、水割を作った配って歩いていただけ。

**C** 料理が置いてあっただけだし、金費も三、五〇〇円で、すごく安かったし。

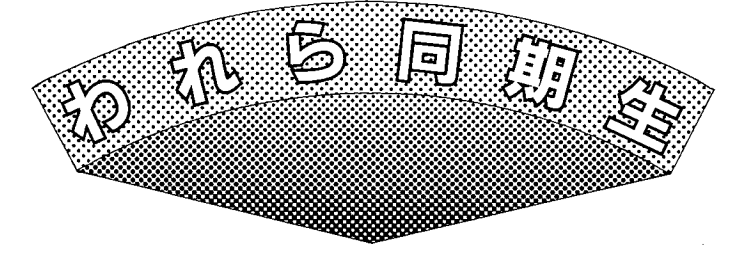
**A** ハガキ代など全て込みだったしね。B君、初めてだし、あまり高いところは駄目だったっていったじゃない？

**B** そうだね。

**A** サービスが一切なかったし、飲物も全て持込だったからね。

**C** だから安く上がったんだ。

**B** メールセンターって、区をやつつか？



**A** そう、品川区の文化事業団でやっているの。

**B** 会議室借りて、あそこ百人じゃダメと聞いたんだよ。

**A** そう。だから2カ所借りて。

**B** で、しょうがないから立食でやつてもらって。そうだね。百人で結構きゅうきゅうだったね。

**A** 場所も卒業して十何年もたっていて、みんなバラバラだから、来やすいところと思って。横浜からも東京からも15分だし、学校にも近いし、でも、あまりみんな知らなかったみたいね。

**C** 俺なんて雪谷の方から遠かった。結局行きはタクシーだった。

**D** だれ、近かった人は？

**A** はい。歩いて十分！

**A** 幹事は初めてだったから、クラスごとに適当に決めたのよね。往復ハガキで連絡したじゃない。

**B** あれ手間だったよ。でもその前に電話でやったら、集まったんじゃない？

**A** 電話したから、あれだけ集まったんじゃない？ 実際話してみないとね。誰が来るかわからないし。

**B** 僕らなんか男子ばかりじゃない。男なんて絶対来ないと思っただけ。電話するの電話するのみんな「行く」「行く」。あれ結局、女子供から逃げたんだよ。

**C** なるほどね。

**D** 同窓会なら来やすいもんね。

**B** それも初めてでしょ。一番子供に手かかる時期でしょ。休みついでと、お父さん子供の面倒見て下さって女房に言われるじゃん。それが同窓会・同期会だって言うとき、大見栄切って卒業して初めての同期会だからって。

**A** 長野。長野だれ来た？

**B** Yさん。

**A** あとは富士からも来た。

**B** T君。

**A** そう、TとかN、あれが富士でしょ。あと、栃木とか茨城から、ね。結構遠くの人に来てた。あと、三重の鈴鹿に行っている人に電話したら「行きたい」って休みやないから、日帰りできないから、行きたいけど……。

**B** でも子供が学校でお休みじゃないから、行きたいけど……。

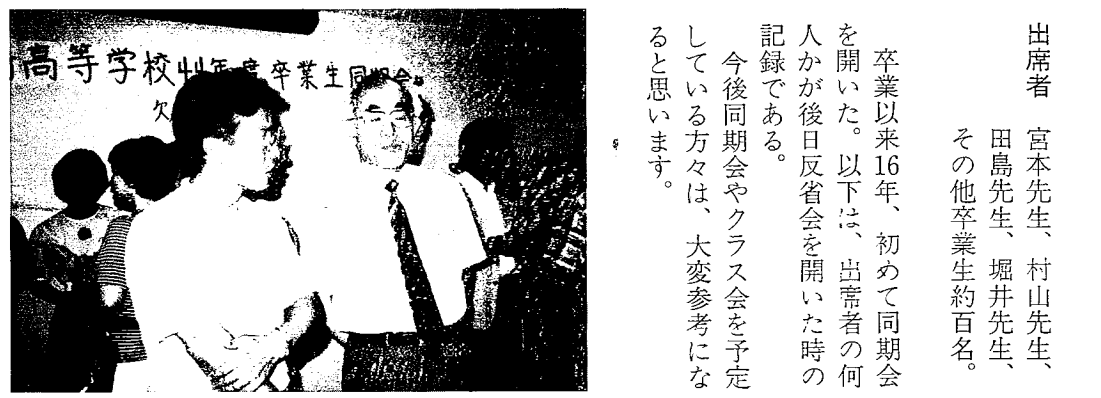
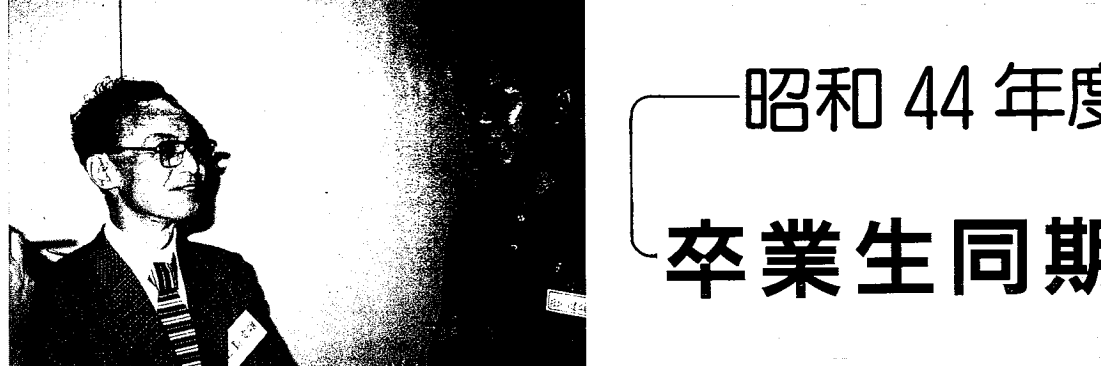
**A** 夏休みじゃなかったのね。入る前ね。

**B** それを考えると夏休みの方が良かったね。

**C** 夏休みの方が集まりやすいのかな？

**D** 五月の連休でも集まるんじゃない？

**A** でも、連休というと家族で予定組んじゃうところが多いんじゃない？ 夏休みだと結構長いからね。



**A** 長野。長野だれ来た？

**B** Yさん。

**A** あとは富士からも来た。

**B** T君。

**A** そう、TとかN、あれが富士でしょ。あと、栃木とか茨城から、ね。結構遠くの人に来てた。あと、三重の鈴鹿に行っている人に電話したら「行きたい」って休みやないから、日帰りできないから、行きたいけど……。

**B** でも子供が学校でお休みじゃないから、行きたいけど……。

**A** 夏休みじゃなかったのね。入る前ね。

**B** それを考えると夏休みの方が良かったね。

**C** 夏休みの方が集まりやすいのかな？

**D** 五月の連休でも集まるんじゃない？

**A** でも、連休というと家族で予定組んじゃうところが多いんじゃない？ 夏休みだと結構長いからね。

**A** これ、本当に大変なのよね。やろうとしたら、なるべく分散してもらってクラスごとにまとめてもらうとか。

**C** 同期会のやり方の特集みたいになつてきたね。

**D** ノウハウみたいだね。

**A** 今後の参考のために。

**B** そういえば、学校も卒業してから全然行っていないから、学校がどんなに変わったか、学校でやれば良かった、と言うものもいた。学校でやるのも一つの手だね。

**A** 学校でやるのと幹事が本当に大変だね。

**B** 同窓会と同期会とぶつけちゃえばいいのさ。

**A** そう、それが本当は一番いいのよ。

**B** だから一番いいのは、同窓会と同期会をぶつけるの。それで……

**A** 二次会を……

**B** 二次会を三々五々。

## 昭和44年度 卒業生同期会

卒業以来16年、初めて同期会を開いた。以下は、出席者の何人かが後日反省会を開いた時の記録である。

今後同期会やクラス会を予定している方々は、大変参考になると思います。

出席者 宮本先生、村山先生、田島先生、堀井先生、その他卒業生約百名。

日時 昭和61年7月13日(日)

場所 西大井駅前 メイプルセンター4F

## 会が始まって 会を終えて

**A** 我々が同期会をやった四百人のうち百人くらい集まったのは、いわば成功だよ。初めてだったしね。

**B** 同窓会二万人の会員がいるのに、百人ちよぼちよぼじゃあ……。

**C** 同窓会が集まる人数とほぼ等しいわけだし。

**B** やっぱこれだけの人が来てくれたってことは、タイミングもあるだろうけれど、やはりこまめに、各クラス各一名くらいずつが自分らの小人数をうまくまとめとくれたことだね。連絡を密に取って、電話で連絡取って、出欠の有無を聞いて、なおかつハガキを送ったりしたからだよ。

**A** 要するに取敢えずアポイントを取って、じゃあ来いよ、ハガキ送るからって、OK出して、くれた人にハガキ送って、日にちに押さえてやったからね。だから他の年代で

**B** やっぱ昔の、あの時はあつた、こうした、あとは近況だね。今はどうしてる。子供は何人いるって。結構名刺の交換なんかもできたんじゃないのかしら？

**B** うん、やった。男同志はやっぱり奥様になっちゃって、女性もいるし、会ってね、高校のとき可愛かった子が、ウーン、っていうのもいるし、また、高校のとき全然自立したなかつた女の子が、あんなにきれいっていうのもいるしね。

**A** 女性連中が面白いんだよ、亭主の自慢話。

**A** アハハハ……。

**B** うちの旦那はねえ、〇〇に勤めているときさ、そういう話が多かったね。女性同志で話しているときさ、「お宅の旦那どこへ勤めているのー」とかさ……。

**A** やっぱそういうのが一番気になるわよね。子供は何人とか、何とかな。

**B** 旦那帰りの早いときさ、まあ話すことっていうのは、井戸端会議みたいな話だよ。

**A** そうでしょうね。

**B** 結局あまりにも中抜きだから。

**D** 趣味っていったら、全くてんでバラバラでしょ。

**B** あとは、高校のとき同じクラブだったから、今あのクラブまだあるのかしら、あそここの校舎あるのかしらとかさ。学校なんか全然行ってないけれど、どうのこうのだったの、って言ったやついたもん。

**A** そうね。

**B** ひとり、女性で旦那さんが

**B** が不動産屋をやっている人がいたでしょう。あとは旅行代理店の社長さん。それにサラリーマンとか学校の先生とか。

**C** 十七年という、十八で卒業して約倍だね。

**B** 頭がハゲたやつもいるし……おい、こんなこと書くなよ！

**D** 結構面白かったりして。

**C** いいんじゃないの？

**B** だって本人が見たらわかつちゃうだろう。

**D** ひとりだけじゃないでしよ。

**A** 誰がしゃべったって名前入れないでしよ。要するに雑談。

**C** イニシャルでいれようか。

**B** わかつちゃうよ、それじゃ。

**A** Aさん、Bさん、Cさん

**A** 同期会をやる時の参考になると思うね。あと、名簿が半分違っていたもんな。

**A** 違っていたわね。

**B** でも、名簿の整備が六割から七割方できたね。今度の学年の人たちに、あくまでも名簿は参考にして、そこで各学年の代表者の人に頼んで、わかるかどうか書いてもらって、連絡の取れなかったところは線を引いて消してもらって、追えれば追えるだけ、例えば勤め先がわかれば勤め先だけでもいいじゃない。それで各学年でやって、各学年の中で各クラスでやれば、四十名くらいはみんな電話したって四十名で千円くらいいかに。話し込めば何万かな。

**A** でも本当にあつたわよ。話しこんじゃうよ。

**B** H組って理科系だったし、G組は全員男だった。H組には二人だけ女の子がいた

**A** そうね、いたわね。

**B** 片割れの一人の女の子が奈良の鈴鹿なんだ。ん？三重か。そこで三十分話したわけ。「行きたいけど……」。

**A** そういうふうに、地方に出た人が行きたかったと思うし、なかなか会えないし。

**B** やっぱそういう人っていうのは、里帰りになるしね。僕らの代の女性っていうのは子供が就学年齢に達しているから、休みの時しか出て来れないからね。

**A** じゃあ今年は夏休みに入ったくらいに企画してみようか。

**B** あとは同窓会の際に、同期の人が何人か来てくれた人でもってうまくコンタクト取り合って、協力しあって、なるべく負担が個人に片寄らないようにしてやらないとね。

**A** 同期会をやると幹事が本当に大変だね。

**B** 同窓会と同期会とぶつけちゃえばいいのさ。

**A** そう、それが本当は一番いいのよ。

**B** だから一番いいのは、同窓会と同期会をぶつけるの。それで……

**A** 二次会を……

**B** 二次会を三々五々。

というふうにしようよ。

**C** 書くよ、って書いてたりして。

**B** あと、高校の時なんか悪ガキで大將みたいなやつが、まさか中学校の先生で、ましてやそれが風紀委員だっていうんだからさ。

**C** Kとしておこう、それは、風紀委員なんて信じられないよな。

**A** 学校の先生って多いわね。

**B** 学生の時無茶苦茶やってたやつが学校の教師だつてさ、とてもじゃないけどやつてやれないよ、あれ。

**D** そういう方がいんじゃないの？

**B** 教わっている子供なんかかわいそうだね。

**D** 自分がそういう状態を知っているから、優等生よりもいんじゃない？

**B** まあ、物は考えようだね。

# 会員だより

## 大崎フアミリー

千葉 治男 (41年度卒)  
大越 るみ子 (41年度卒)

小生の愚妻は大崎の後輩であり、愚妻の妹も大崎の出身であります。その夫(小生の義弟)は彼女のクラスメイトであります。従い我が家の二夫婦は全員の大崎の同窓生。当然に小生が最年長の先輩である……にも拘らず女房に頭が上がりません。その夫(小生の義弟)は彼女の大崎の後輩である義弟と力を合わせて品川区と千代田区で小・中・高校生を対象とした学習塾・進



## 生活の原点は大崎高校にあり

山口 啓司 (41年度卒)  
飯島 慶子 (42年度卒)

同窓生の皆様 はじめまして。この季節になりますと懐かしく思い出しますのが母校の同窓会です。在籍中は、言葉交わした事のない私達が、同窓会に出席したばかりに、只今結婚十二年、ちよつと良い夫婦になっております。お若い方は「存じでしようか、あのエレキギターチームの頃を。我が大崎高校にも、自称プロ級の腕前を誇るグループがありまして……その中の一人が彼なのです。今では文化祭なども、時代と共に変わって来ているのでしようが、当時は、彼達グループの演奏は、体育館でのプログラ

学教室を運営するかたわら都内・神奈川の家へ講師の派遣をする組織を運営しております。塾のパンフレット等の印刷物は、大崎の先輩である高久さん(28年卒)の経営される日正印刷にお願いし、会社運営上の法律事項は前橋桐会長の西林先輩に相談させて戴き、不動産関係の事務は現副会長の川村先輩に何でも相談出来ますし、塾の講師にも大崎の後輩が助けてくれる等々……大崎出身の人々の暖かい気持ちに支えられて生きて戴いております。我が母校「大崎」には感謝する気持ちでいっぱいです。

四人の子供に恵まれました。大崎のある豊町とは隣の二葉町に住んでいますし、四人の子供のうち誰かが、将来母校のお世話になるかも知れません。そうしたら、益々大崎との縁が深まるばかりです。

## 同じクラス・同じクラブ

夏目 幸一 (46年度卒)  
大越 優子 (46年度卒)

私達は高校一年生と同じクラス。クラブも、妻がマネージャーをやっていたというこどもあり、知り合ってから八年目に結婚しました。結婚までの付き合いが長い割には互いに相手を知らないことが多く、こんなはずではないのに、と思うことが多々ありました。結婚して十年目になりました。息子は五才、一人っ子です。

## われら夫婦

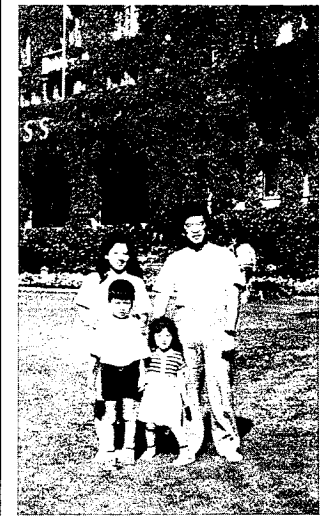
### ♡同窓生♡

## 十八年間を振り返って

熊井 健二 (44年度卒)  
太田 真知子 (44年度卒)

私達が知りあったのは高校二年、十七歳の時であった。生と会長の彼と、転校して間もないのに学園祭のバザー実行委員長という役を任せられた私は、学園祭と一緒に作り上げていく仲間として、また、帰る方向が同じということもあって付き合いだした。その付き合いは、図書館で勉強したり、お互いの家に行ったりしたものであった。双方の家族の理解があり、家族同様に受け入れられ、付き合い合えたのは親身に感謝したいと思う。その後、私の家の引越し、進む大学も違ったが、付き合いは続き、同じ青春時代を

送ったので、考え方も、趣味も似ている。大学卒業後、彼は千葉へ教師として赴任して下宿生活をし、私は神奈川の大学助手として勤め、離れることになった。お互い忙しい身にもかわからず、毎週のように会っていた。見るに見かねたのが、回りが結婚について騒ぎ始め、本人達の意志が固まらないうちに話が進展した。二十四歳の時に結婚し、私は勤めを辞め、千葉に新居を構えた。二人の子に恵まれ、今では長男が小学校三年生、長女が小学校一年生になり、折りにふれ、高校時代を懐かしく思い出します。先生方諸先輩、いかがお過ごしでしょうか。クラスメイトの皆様は元気でしょうか。今年も「母の日」に同窓会があるはずですが、私もこの数年、皆様に会いできるかと参加させて戴いておりますが、なかなか知っている方にはお会いできて、ビールをがぶ飲みしているばかりでした。今年こそは、と楽しみにしております。終わりに塾の住所と電話番号を記しておきます。お近くにお出での際は、是非お声をかけて下さい。



## 大崎と郵便局が結んだ仲

渡部 良彦 (50年度卒)  
橋本 ひろ美 (51年度卒)

六十二年十月十九日、式。二人が知り合ったのは六十年の夏、私とその友人(男一人、女一人)の計三人が渋谷で飲むことになり、女性が一人しかいないので、もう一人女性を連れて来てもらいました。飲み始めて自己紹介をしました。私を除く三人は(別々の郵便局員でした。私も大崎時代のうち、五十二年三月から五十五年三月まで、郵便局の非常勤職員をやっていた経緯があります。当時その郵便局では、年末年始には、大崎の生徒たちが何人も非常勤で働いておりました。そして、我々二人が大崎の出身と知り合いました。

在学中は、49、50年度と、二年間学校内で顔を合せていたはずなのに、当時はお互い全然知りませんでした。そして、彼女の郵便局員としての三年間と、私の非常勤職員の勤務先 夫・日正印刷株式会社 妻・大田東雪谷五郵便局



## 28年度卒業 同期会開催

二年ぶりに、昭和二十八年卒業同期会を左記の通り開催いたします。奮ってご参加下さい。

日時 五月十五日(日)  
午後六時三十分～九時  
会場 加寿翁(かずお)  
新宿住友ビル五十二階  
電話三四五〇八八一

## 幹事 杉本律子 小林悦子 田中章嗣 高久順平

寄付のお願い  
一口五百円として、次の方法でお送り下さい。同窓会の当日も受付けております。郵便振替  
東京三十四六九九一  
東京都立大崎高等学校  
(なへちゃん)

※事務局からお願  
住所変更された方は、必ず事務局までご連絡下さい。

後記  
毎年二月頃になると、「同窓会」というような言葉が頭の中を通り過ぎ、三月に入ると「原稿」という言葉が頭の中を走り回り、四月になるともう大変「納期」「発送」という言葉が混じり、錯乱状態となります。昭和三十一年に建設された体育館が、この五月、生まれ変わります。本号では、体育館格技棟の改装に設計の段階から関わってこられた平野先生からその詳細についてご報告頂戴しました。平野先生はこの春、八潮高校に異動され、教頭に昇進となりました。職員だよりは、前号に引き続き校長先生から、また、この春大崎で二十一年間を最後に引退になった木槻先生からご寄稿頂きました。木槻先生、長い間おつかれさまでした。そしてありがとうございました。さて本号では、予告通り同窓生夫婦の特集を組みました。調べましたところ、結構多いものですね。とにかく何組かのご夫婦にお願いしたところ、五組のご夫婦からご寄稿頂きました。紙上をお借りしてお礼申し上げます。今後とも引続き同窓生夫婦をご紹介したいと思いますので、ご寄稿お願いいたします。

皆さんの中で気づかれた方も多々ありますが、この二年、三年、新聞の文字が大きくなり、会報の文字がますます小さく感じられるようになったため、本号から文字を大きくし、印刷も活版からオフセットにいたしました。写真の出も良く納会報をもっとと、今後も梧桐会報をいきたいと思いますので、皆さんのご意見・ご要望を事務局までお寄せ下さい。